

研究発表申込フォーム

氏名：湊 邦生

氏名のローマ字表記：MINATO Kunio

所属：高知大学地域協働学部

専門分野：社会学

発表のタイトル（日本語）：モンゴル国におけるソーシャル・メディア利用の予備的分析

発表のタイトル（英語訳）：A Preliminary Analysis of Social Media Use in Mongolia

発表要旨（日本語で 600 字～800 字程度）：日本をはじめ世界各国・地域同様、モンゴル国（以下「モンゴル」）でもさまざまなソーシャル・メディアが普及している。とりわけ顕著と言えるのが Facebook の浸透ぶりで、モンゴルの人々とのやり取りで Facebook を常用する日本人研究者も少なくないと思われる。ただ、モンゴルにおけるソーシャル・メディアの利用の実態については、これまでのところ本格的な調査や分析が行われたとは言い難い。すなわち、モンゴルに関わる多くの人々が実感しているであろう Facebook の浸透がはたして事実なのか、どのような人々がどのようなソーシャル・メディアを利用しているのかなどが、検証可能なエビデンスによって明らかにされていない状態である。発表者（湊）は第 6 回アジアン・バロメータ調査(ABS6)にソーシャル・メディア利用に関する設問が組み込まれたのを機に、この点についての研究に着手した。現時点でデータが公開されているのは一部の国にとどまっているが、その中にモンゴルも含まれていることから、国際比較を行うのであれば、分析は可能である。そこで、今回の発表では ABS6 のモンゴルデータに限定した予備的・探索的分析の経過について報告する。具体的には、ABS6 で設問項目に含まれた 5 つのサービスである Facebook、Twitter、YouTube、Viber、Instagram の利用の有無に関する設問の回答結果から、各サービスの普及状況、またそれぞれの利用者の特徴について、簡単な分析内容を報告する。